

— Vol.13 言語聴覚士 —

ことばによるコミュニケーションや食べることは、
ひとが生きていくうえでとても大切なこと。
私たちの役目は、それらに困難を抱える人を支えることです。

声が上手く出せない、思いが伝えられない、
食べ物が飲み込みづらいなど、患者さんによって抱える問題はさまざま。
一人ひとりの患者さんに向き合い、支援をしつづけます。

ありがたいの代わりに求めてくれる握手。
患者さんの意志で伝えようとしてくれる気持ち。
できることが増えるにつれ、いきいきする表情。
それら一つひとつに大きな喜びを感じます。

その喜びを味わえるこの職業に、これからも精一杯取り組んでゆきます。

医療福祉人 私のもの語り

— かわらぬ思い、このさきも —

川崎医療福祉大学

リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科(卒業生数804名、2019.4 現在)

【学科の歩み】1991年 川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科 言語聴覚専攻 開設。

学校法人 川崎学園

岡山県倉敷市松島577

2020 創立50周年記念

50th
Anniversary
Kawasaki Gakuen
since 1970

川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 主任言語聴覚士
川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科 特任講師

宮崎彰子

川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科 言語聴覚専攻 卒業